学校番号	1101

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂　新編化学基礎」（東京書籍）						
副教材等	「改訂ニューアチーブ　化学基礎」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

平成 29 年度から化学基礎は２年生全員が受講する科目になりました。
化学は自然界に存在するすべての物質とその変化を探求する途轍もなく範囲が広くてしかも奥の深い学問です。化学基礎ではその基礎の基礎に相当する内容を１年かけてゆっくり学習します。
週２回のペースで教科書も少しずつ進みますが、放っておくとテスト前に復習しきれなくなりますから、こまめに、できれば毎時間ごとに復習を積み重ねていってください。
授業はプリントを中心にし、問題集からの問題を補充しながらおこないます。

２　学習の到達目標

日常生活をとりまくいろいろな物質や化学反応への理解を深め、実験や観察を通して化学の基本概念が身に付けられるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	いろいろな物質や化学反応について関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を習得している。	いろいろな物質や化学反応の中に問題点を見いだし探求する過程を通して、科学的な思考能力を身に付け、到達した考えを的確に表現している。	いろいろな物質や化学反応に実験や観察を通してふれ、基本操作を習得するとともに、データの記録・処理能力を高めて自然現象を科学的に探求する技能を身につけている。	いろいろな物質や化学反応について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシートの記述 実験・観察の記録 小テスト 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	物質の構成	物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表 化学結合	○ ○	 ○	○	 ○ ○	a:物質の成分と構成元素、原子の構造と元素の周期表について関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけている。 b:化学結合について考察し、的確に表現できる。 c:物質の成分と構成元素に関する実験・観察を通して基本操作を習得し、過程や結果を的確に記録・整理できる。 d:原子の構造と元素の周期表、化学結合について理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト 定期考査の結果
後期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応	 ○ ○	○ 	 ○ 	○ ○	a:酸と塩基、酸化還元反応について関心をもち、科学的な見方や考え方を身につけている。 b:物質量と化学反応式について考察し、的確に表現できる。 c: 酸と塩基に関する実験・観察を通して基本操作を習得し、過程や結果を的確に記録・整理できる。 d: 物質量と化学反応式、酸化還元反応について理解し、知識を身につけている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 観察・実験の記録 小テスト 定期考査の結果

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。